



敬愛



〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

校長 持田 晃

学校評価のご協力をありがとうございました。

校長 持田 晃

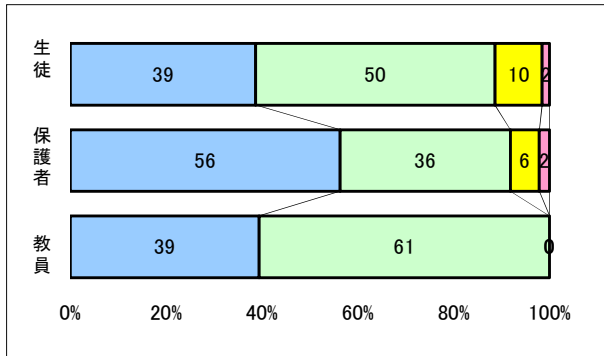
年2回実施しています学校評価について、第1回と第2回を比較した結果をお知らせいたします。今年度は、4月当初からの臨時休業により、多くの学校教育活動に制約が生じ、予定していた取組ができないことも重なりました。学校評価へのご協力に感謝いたします。(カラーでなくて、すみません。)

【表の見方】	 重点目標	○ 「おおむね達成」 △ 「課題ややあり」	 来年度の対応
		数字 第1回 → 第2回 () 昨年度比	

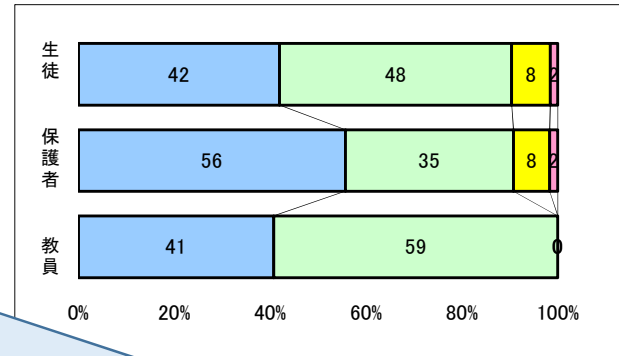
	重点目標と方策	成果と課題	来年度に向けて
学習指導	授業	○生徒の授業アンケート 86.5%→86.8% (0.2%増)	*新学習指導要領に準じた指導方法の工夫・改善を行う。 ICTを活用した授業の工夫。 *小中連携による家庭学習の定着に向けての方策を検討する。
	家庭学習	△生徒の学校評価アンケート 「家庭学習・忘れ物なし」 51%→55% (1%減)	
生活指導・進路指導	生活指導	○生徒の学校評価アンケート 「身だしなみ」…95%→94%(3.8%増) 「清掃」…94%→93%(4.5%増) 「挨拶」…79%→82%(3.2%増) 「チャイム着席」…96%→93%(2%増)	*生徒会と連携した「5本の柱」の取り組みにより、「ルールをマナー」にできるよう規範意識の醸成を図る。 *総合的な学習の時間を利用した外部機関との連携による進路指導の充実を図る。 *SC, SSW等との連携を強化する。
	進路指導	○生徒の学校評価アンケート 「進路や生き方」68%→75%(6%増)	
	相談教育	△生徒の学校評価アンケート 「悩み・相談」82%→79%(8.2%増)	
特別活動	人間関係の構築	○生徒の学校評価アンケート ・「生徒会主催の行事への参加」 83%→87%(6%増) ・「相手を尊重した態度」 89%→88%(4.7%増)	*コロナ禍における生徒会活動の創意工夫を図る。 *「特別の教科 道徳」の時間充実による相手を尊重した態度の向上を図る。
学校運営	特別支援教育	○コーディネーターを中心に、校内委員会の定期開催 ○特別支援教室拠点校としての巡回システムの構築	*特別支援教室拠点校として、特別支援教育に関わる更なる研修の充実を図る。 *特別支援教室の在籍生徒増加に対応した指導方法の工夫を図る。 *地域行事の連携を図る。
	連外連携部	・60周年記念行事を通じた連携	

【質問1】 正しい姿勢で座り、集中して授業を受けることができた。

<2年度 7月>



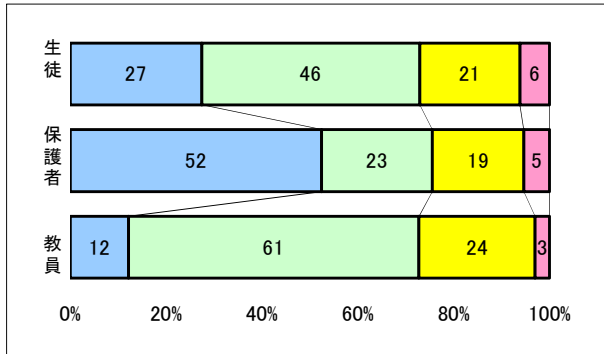
<2年度 12月>



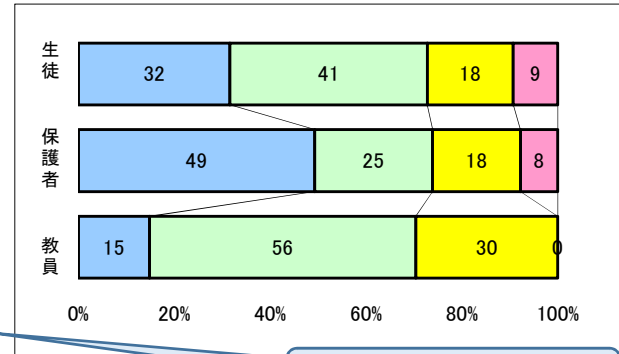
高い数値を維持しています。姿勢は大切です。これからも続けよう。

【質問2】 必要な教科書、ノート、資料集、提出課題などの忘れ物がなかった。

<2年度 7月>



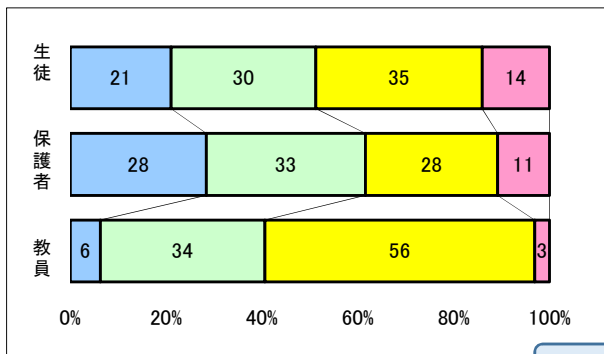
<2年度 12月>



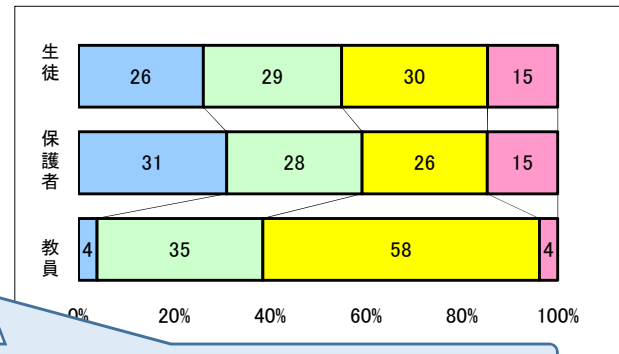
「そう思うが増えました。」

【質問5】 家庭学習に毎日取り組んでいる。

<2年度 7月>



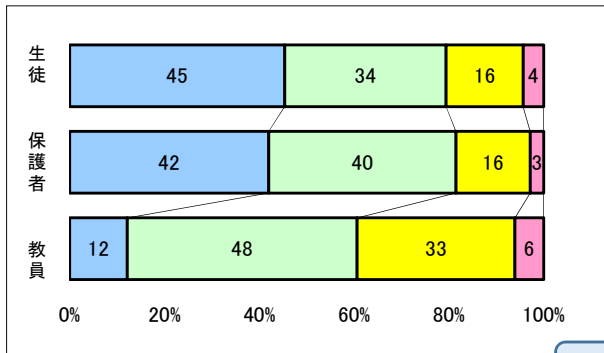
<2年度 12月>



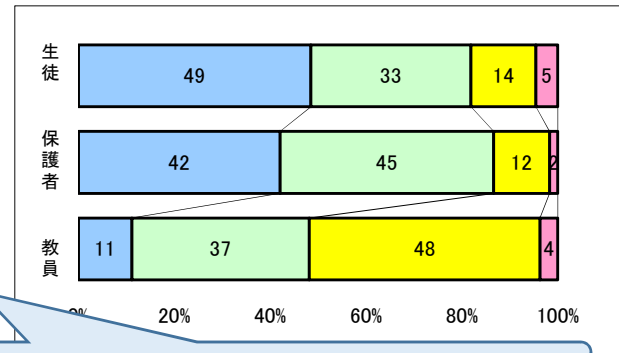
保護者の方より生徒のみなさんの方が厳しい回答です。

【質問13】 先生や来校者の方に、自らすすんであいさつすることができた。

<2年度 7月>



<2年度 12月>



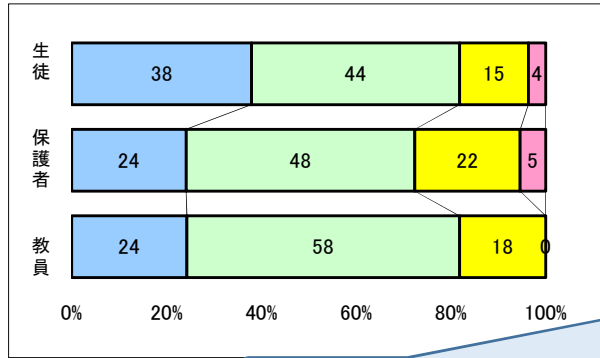
生徒会の重点事項です。挨拶をする生徒が増えています。

グラフの見方

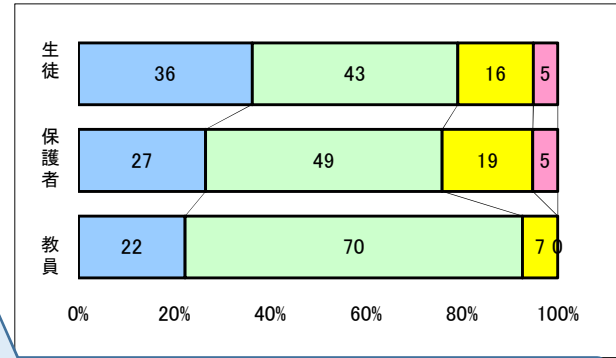


【質問18】 学校は、あなたの悩みや相談に適切に応じてくれている。

<2年度 7月>



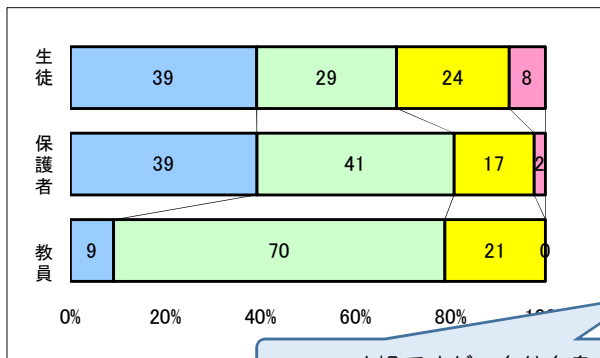
<2年度 12月>



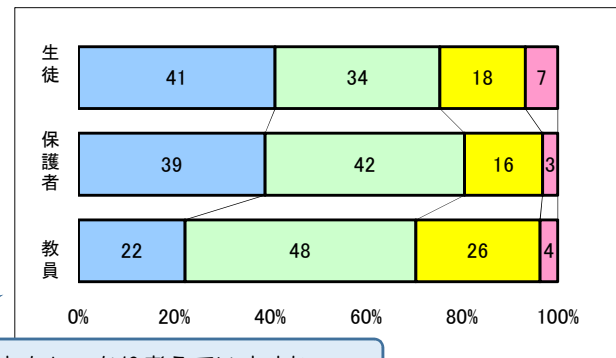
少し減少しましたが、昨年度より増加しています。人に話すことは気持ちが楽になります。

【質問21】 将来の生き方について考えている。

<2年度 7月>



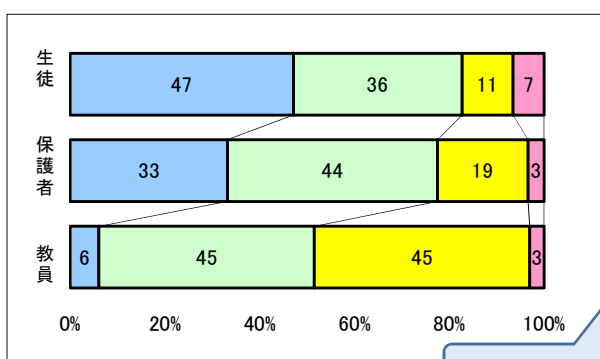
<2年度 12月>



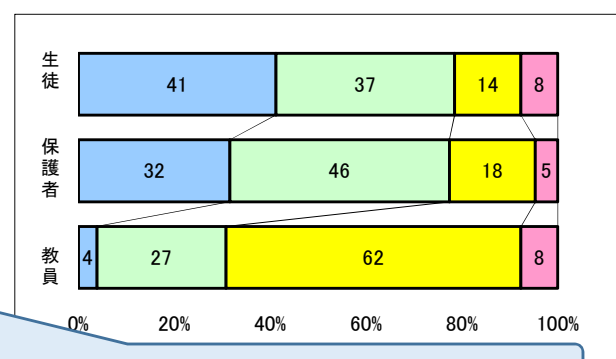
コロナ禍ですが、自分自身のこともしっかり考えていますね。

【質問23】 家庭で、保護者とスマホやパソコン、携帯電話などの安全な使用やルールをしっかり話し合ってきた。

<2年度 7月>



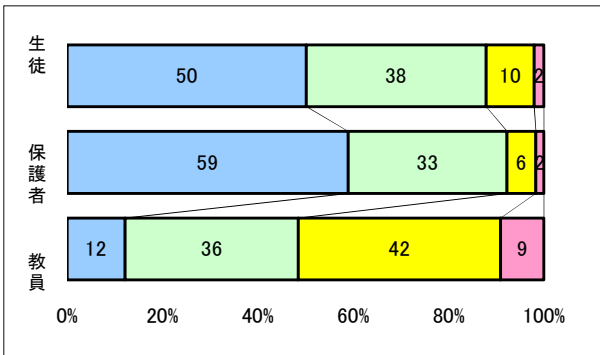
<2年度 12月>



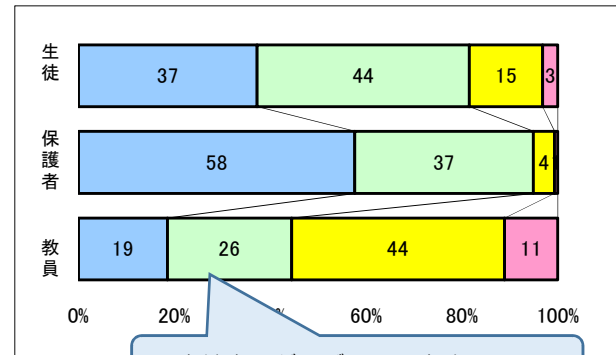
ルールは決めるだけではなく、守りましょう。自分や友達のためです。

【質問26】 コロナウイルス感染拡大防止への意識をしっかりとって行動することができた。

<2年度 7月>



<2年度 12月>



引き続き、がんばっていきましょう。

私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO29

「答えなんかどうでもいいんです」

教諭 藤澤 匠

「3：5です」。当時中学生だった私は、数学の授業のときに先生に指名され、線分の比を答えた。その答えは正解であり、他の誰も解けていなかった。そのとき、担当の先生に言われた言葉を、今でも忘れない。「答えなんかどうでもいいんです。答えなんて所詮、紙くずみたいなものなんです。解き方を教えてください。さあ、どうぞ。」

私は、解き方を説明できなかった。なぜなら線分の比を計算で出したのではなく、線分にシャープペンシルをあてて、カチカチとノックした回数の比を答えたら、たまたま正解しただけだったからだ。「すみません、解き方は分かりません」と正直に答えると、「じゃあ、不正解と同じです。考え直してください」と冷たく流された。なんて、冷たい言い方だろうと思った。運も実力のうちだと信じてやまなかった私は、その先生が嫌いになった。

数日たって、その先生とたまたま二人になったとき、その言葉の意味を説明された。

「数学に限らず、あらゆる物事は答えや結論が大切なのではなく、そこに至るまでのプロセス（過程）が大切なんです。結論にたどり着いても、なぜ結論に至ることができたのかがわかっていなければ、次同じ壁にぶつかったときに乗り越えることができません。答えばかりを求めないで、プロセスを大切にできる人になってください。紙くずは言いすぎました。」

多くの人々が、定期考査や部活動の大会、行事等で、結果ばかりに注目し、なぜその成績を収めることができたのかに、目を向けないことがある。結果は結果であり、当然良ければ喜び、悪ければへこんで反省するべきだと思うが、そこで終わってしまっただけでは全く進歩はない。どうして、その結果にたどり着くことができたのか、過去の自分を振り返り、今の自分を変えていくことが、未来の自分を大きく成長させる。

心に残った一言を言われた当初は、その先生のことが苦手だったが、大人になった今では、その言葉の意味が分かる気がする。

表彰 おめでとうございます！

ハンドボール部

東京都ハンドボール新人大会

男子の部

「第3位」 府中市立府中第三中学校

第37回 読売旗争奪中学生ハンドボール大会

男子の部

「第3位」 府中市立府中第三中学校

女子テニス部

多摩地区中学校新人テニス大会

女子団体

「準優勝」 府中市立府中第三中学校

